



東日本の大震災に対する  
大川市の支援等について

永島 守 議員

**問** 東日本震災の復旧・復興の支援について、大川市固有の財産である木工技術、機械、設備等を利用した、被災地と大川市の双方にとって為になる方法を考えていただきたいが、どのような支援策を考えておられるか、市長の考えを伺いたい。

**答** 6月5日から7日にかけて、大川家具工業会、インテリア産業振興センター、県中小企業振興課、本市インテリア課職員の計五名が福岡県の支援対象である宮城県に現地調査に行ってきたところである。

現時点では詳細説明は受けていないが、大川家具工業会においては、大川の家具業界としての具体的な支援策を決定し行動に移していく予定と聞いている。

本市においても市内空き工場や余剰設備等の把握を進めており、大川にはこれまで歴史の中で培われた技術と伝統があり、何が被災地企業再生への支援策となるのか更なる情報を収集し、県や業界と連携を図り支援に取り組んでいきたい。

大川の持っている固有の力でもってできるだけ支援をしたいと考えており、業界もおそらく同じ思いで行動されていると思う。



東日本大震災に関する  
復興支援の取り組み  
について

古賀 龍彦 議員

**問** これまでの支援と今後の取り組みは。

**答** ①原発事故の避難者一名を公共賃貸住宅に受入れており、一定期間の家賃および光熱水費は市が負担している。②義援金は、市からは日本赤十字社を通じ一千万円、市民の皆様からの浄財四千三百三十万円は中央共同募金会へ送金した。③被災地へ市消防本部から消防車一台及び隊員四名、医療チームの一員として救急救命士一名を派遣。今後も支援は継続して行う予定である。

**問** 万一の事故等を考慮し、現地のボランティア活動に参加する方の情報収集を市が行う必要はないか。

**答** 個人の意思により自発的に行かれるので市での把握は困難であるが、現地のボランティアセンターに登録するなどにより対策が取られている。

**問** 大川木工まつりでの支援取り組みは。

**答** チャリティオークション、義援金箱の設置、現地の観光と物産展の開催など、今後、企画事務局会議等で支援策を協議していく。

**問** 節電対策の取り組みは。

**答** 大川市節電・省エネ推進委員会を立ち上げており、公共施設において節電を推進する。

## 議会を傍聴しませんか！

次の市議会定例会は、開会日を9月5日（月）に、一般質問を9月8日（木）、9日（金）に予定しています。みなさまの傍聴をお待ちしております。

インターネットによる議会中継も行います。

ホームページアドレス <http://www.okawa-city.stream.jfit.co.jp/>

なお、議会の日程は変更になることもありますので、詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。（TEL 85-5622 直通）

大川市議会

検索